

「もりが げんきに なると  
どうぶつも よろこぶ。  
よきによきと いろんな しょくぶつも  
のびて くるんだ」



📖 読み聞かせる方へ

森には、様々な植物や昆虫、鳥や獣など多くの生きものの住処や、えさとなる食べものを提供するという大切な役割があります。そして多くの生きものと、それらが生きる自然環境を合わせた「生態系」を守るのも森なのです。

「ろくじゅうねんくらい そだてて  
ようやく つかえるくらい おおきなきになるんだ。  
きった きは いえに なったり つくえや  
いすに なったりして わしらのそばで  
ずっと いきていく。  
そして きったら また こどものきを  
うるんだ」



□ 読み聞かせる方へ

山形県は「やまがた森林ノミクス」を推進しています。「やまがた森林ノミクス」は、山形の森を県民みんなで積極的に使い、木を植え、育て、使い、再び植える「緑の循環システム」により、産業の振興や雇用の創出など、地域全体が元気になることを目指しているものです。

山形の木材（特にスギ）は、木造の建物に使われるほか、間伐材は木質バイオマス発電や紙の原料などに利用されています。



「ねえねえ あれが じいちゃんの うえた き？」  
うらやまに ならんだ すぎを いもうとが ゆびさした。  
「そう きれいだらう？」 「うん きれい」  
「あの きは おまえの とうちゃんが うまれたころに うえたんだ。  
とうちゃんも いっしょに せわを したんだよ。  
いっしょうけんめい きを うえて そだてて  
もりを だいじに まもってきた。  
だから やまがたの もりは きれいなんだよ」

そのぼん あめは どんどん つよくなり  
あらしに なった。



📖 読み聞かせる方へ

山形県は、森林が県土面積の7割（約67万ヘクタール）を占めています。また、全国一の面積を誇るブナの天然林（約15万ヘクタール）をはじめ、美しく豊かな森や自然に恵まれています。

ごおおお ごおおお。  
いままで きいたことのない おとを たてて  
かぜが ふいて あめが ふった。  
がたがた がたがた みしみし みしみし  
いえが なる。 こわい。

カーテンの すきまから もりを じっと みつめて  
じいちゃんが いった。  
「じいちゃんの そだてた もりが やまくずれや  
こうずいを きっと とめてくれる。 だいじょうぶ」

ぼくは ぎゅうっと じいちゃんの てを にぎった。  
ながい ながい よるだった。



あさ。

めを さますと はげしい あらしは とおりすぎている。

「だいじょうぶ だったよ」

いもうとが にこにこ かけよってきた。

じいちゃんも ばあちゃんも とうちゃんも かあちゃんも  
ほっとした かおを している。

よかった。

じいちゃんの もりは つよかった。

うちを まもって くれたんだ。



「じいちゃん じいちゃん  
こんど いっしょに もりへ つれてって。  
ぼくらも じいちゃんの  
うえた きを みたいから」



### この絵本のねらいについて

私たちは、山形県の「美しく豊かな森や自然」が「自然との共生の文化」によって育まれてきたことを子ども達に伝え、それらをやまがたの宝だと感じてもらいたいという願いを込めて、この絵本を作りました。

### 「やまがた木育」について

- ・ 山形県は、人生のあらゆる場面を通して、乳幼児からお年寄りまでの全ての世代で「やまがた木育」に取り組んでいます。
- ・ 「やまがた木育」の目的は、森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かすことです。
- ・ 先人からの贈りものであると同時に、未来の世代からの預かりものである「美しく豊かな森や自然」と「自然との共生の文化」というやまがたの宝を未来の子ども達に引き継いでいきます。

作：ささきみお

発行：山形県環境エネルギー部みどり自然課  
山形県山形市松波 2-8-1  
TEL 023-630-2207



この絵本は、やまがた緑環境税を活用して作成しています。

やまがた緑環境税